

授業科目	生活援助技術 II	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1 年次前期	1	講義・演習	30 時間
到達目標	1. 身体の清潔・着脱を助けるために必要な援助技術を理解する。 2. 病床での衣生活の援助技術を理解する。					講師
						専任教員
授業計画						
1 回	清潔の援助 基礎知識、皮膚粘膜の構造と機能、口腔内の構造と機能清潔援助の効果 患者の状態に応じた援助の決定と留意点					講義
2 回	清潔援助の実際 入浴・シャワー浴、援助の基礎知識、援助の実際					講義・DVD 演習
3～ 5 回	全身清拭、援助の基礎知識、援助の実際					講義・DVD デモンストレーション・演習
6～ 7 回	洗髪、援助の基礎知識、援助の実際 仰臥位でケリーパッドを用いた方法、洗髪者を用いた方法、洗髪台で ストレッチャーまたは洗髪用椅子を用いて行う方法、 温湯を使用した洗髪ができない場合の頭皮・頭髪の清拭					講義・DVD 演習
8～ 9 回	手浴・足浴とフットケア、 援助の基礎知識、援助の実際					講義・演習
10 回	陰部の洗浄、援助の基礎知識、援助の実際					講義・演習
11 回	整容、洗面、眼・耳・鼻の清潔、爪切り、髭剃り、口腔ケア、義歯のケア 援助の基礎知識、援助の実際					講義・演習
12 回	病床での衣生活の援助、援助の基礎知識、援助の実際 病衣の選び方、病衣・寝衣の交換（輸液ラインが入っている場合）					講義・演習
13～ 14 回	患者の状況に応じた清潔援助の実際					グループワーク 演習
15 回	まとめ					
評価方法	選択肢問題及び筆記試験（70%）、全身清拭技術試験（30%）を総合して評価する。					
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③ 基礎看護技術 II 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院					
備考	教科書・配布資料で予習・復習を行い、演習においては解剖生理を振り返り、必要な技術練習を行い臨むこと					